

令和3年9月1日

サイバーセキュリティ関連情報（9月号）

鳥取県警察本部サイバー犯罪対策課



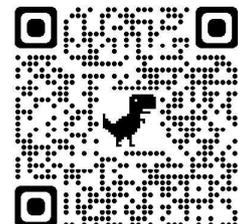
○ IPA「情報セキュリティ白書2021」発行

IPA（独立行政法人情報処理推進機構）は、情報セキュリティに関する国内外の政策や脅威の動向、インシデントの発生状況、被害実態など定番トピックの他、その年ならではの象徴的なトピックを取り上げて解説した書籍「情報セキュリティ白書」を2008年から毎年発行しています。

最新刊の「情報セキュリティ白書2021」では、スペシャルトピックとして、米国の政策（トランプ政権下のセキュリティ施策、バイデン政権の政策など）、テレワークの情報セキュリティ（インシデント事例、テレワーク環境を取り巻く脅威、課題、対策など）、NIST（米国国立標準技術研究所）のセキュリティ関連活動（組織の沿革と体制など）を取り上げています。

情報の網羅性と参照性の高さが特長で、所属組織の注意喚起、啓発・セミナー資料、資格取得、試験対策等、幅広い用途で利用することができます。

印刷書籍版は、定価2,200円（税込）で購入可能ですが、IPAのホームページから会員登録及びアンケート回答により、無料でPDF版の入手が可能です。



参考 IPA <https://www.ipa.go.jp/security/publications/hakusyo/2021.html>

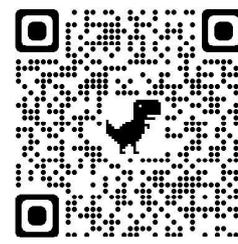
○ 厚生労働省をかたるコロナ便乗のフィッシング発生

新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、令和3年8月、厚生労働省をかたる電子メールにより、個人情報などを騙し取るサイトに誘導する手口のフィッシング攻撃が発生しているとして、フィッシング対策協議会などが注意を呼び掛けています。

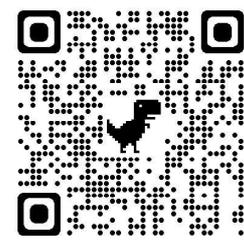
フィッシング対策協議会によると、フィッシングメールには、「重要なお知らせ」と記載され、新型コロナウイルス感染症の防疫作業や緊急救援の協力を求める内容に見せかけ、リンクボタンからフィッシングサイトに誘導し、誘導先のサイトで、氏名、電話番号、身分証明書の画像を騙し取ろうとするほか、症状の有無、体温やワクチン接種の状況の入力を求めるという。

また、JC3（一般財団法人日本サイバー犯罪対策センター）の脅威情報でも同様に注意喚起しているほか、誘導されるフィッシングサイトのURLの文字列に、「.go.jp」が含まれるアドレスが使用されており、政府機関のウェブサイトに使用されるドメイン名の末尾となる「.go.jp」と似せたものが使われているなどとして、個人情報などは決して入力しないよう注意を呼び掛けています。

新型コロナウイルス感染症に便乗するフィッシングについては、給付金に関するものやワクチン接種などを装ったものが確認されているほか、身分証明書の画像を送信させる新しい手口のものも発生しています。メールのリンク先を安易にタップしてしまうことなく、また、個人情報の入力を要求された場合は、一旦、落ち着いて立ち止まり、真偽を確認するようにして下さい。



フィッシング対策協議会



JC3

引用 フィッシング対策協議会 https://www.antiphishing.jp/news/alert/mhlw_20210813.html

JC3 <https://www.jc3.or.jp/threats/examples/article-385.html>